

自ら学ぶ生徒
正しく行動する生徒
健康でたくましい生徒



令和2年1月24日(金)発行

【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

手をたずさえて

働きことの意味、今やらなければならないこと… “その道のプロ”から多くの学びがありました！ 1年「働く人々に学ぶ会」開催

「今、なぜ学ぶのか」という問いに真剣に向き合うとともに、様々な人とのかわりなどから、人間としての生き方について考えることは、中学生としてとても大切なことです。

1月21日(火)には、1年生の総合学習において、“その道のプロ”である7名の外部講師の方々をお招きし、職業講話をしていただきました。

生徒達は、7つの職種の中から一人2回話を聞きました。その仕事の概要、その仕事に就くために必要な適性、仕事をする中での喜びや苦勞などを知ることができました。さらに、職業人になるために中学校時代にしておくべきことについてもアドバイスを頂きました。講師の方々の案内、会の司会、お礼の言葉は、すべて生徒達の手で行われました。

多くの職業人やその道のプロと触れ合うことにより、多様な生き方や価値観を知り、感じることに。大人や書籍が一つの答えを下すのではなく、その触れ合いや感じたことをもとに自分で考えること。今、中学校で学んでいることが社会につながっていくということ。それらが、自らの生きる力を発見していくための“道しるべ”になると考えます。また、今回、挨拶などの礼儀やマナー、時間を守ること、部活動などを最後までやり抜くことの大切さを強調されていた講師の方が多かったことも忘れてはならないことです。

今回来校された7名の方は、いずれもその分野の第一線で活躍されており、自分の職業に誇りと責任をもたれているということが分かりました。1年生の生徒達には、講師の方々のお話やその姿から、自分のこれからは生かせるものを吸収してほしいと思います。

裏面に2名の生徒の感想を掲載しました。2名の感想には、新しい気付きや、今の自分と照らし合わせてみて考えたことがよくまとめられています。

お忙しい中、貴重なお話をいただきました講師の皆様には、深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

“その道のプロ”7名の講師の方々



福島中央テレビアナウンサー
菅佐原隆幸さん



イトンクロープガーデン
美容師 伊藤昌幸さん



のびのび学園長
保育士 安田 忍さん



ジブラルタ保険株式会社
ライフプランナー 佐々木美華子さん



東武トップツアー
ツアーコンダクター 戸賀澤浩之さん



曾根時絵工房 取締役
伝統工芸士 曾根英昭さん
(曾根先生の叔父様です！)

株式会社しのだ 取締役
調理師 篠原祐太郎さん



「働く人々に学ぶ会」に参加して…

私は、「アナウンサー」と「調理師」の方の講話を聞きました。その講話の中で特に心に残ったのが、「働くのは、人の役に立つためである」ということです。私は、これまで働くのは収入を得て生活していくためだと思っていました。だから、働いて収入を得るためには、たくさん我慢することがあったり、大変な思いをしなければならぬと思っていました。ですが、今回講話してくださった方々は、自分の仕事を楽しんでいる点が少し意外でした。「なぜ、こんなにも楽しんで仕事ができるのだろうか?」、そう思っていた時に教えていただいたのが、「働くのは、人の役に立つためである」という言葉でした。この言葉を教えてくださった調理師の篠原さんは、「働く」という言葉を「端楽(はたらく)」という文字で書き表していました。他の人に楽しい、幸せだと思ってもらえる体験をしてもらうことが、働くことの意味であり、この「端楽」という文字が素敵だなと思いました。また、同時に人の役に立つことで、お金をもらうことができることを改めて知ることができました。私は、「働く人々に学ぶ会」を通して、働くことの意味や働くことについての新しい見方を学ぶことができました。ここで学んだ「人の役に立つために働く」ということを胸に止めて、これから進路を選択する時の参考にしていきたいと思います。(1-2 兼子伶菜)

この会から今後僕の人生において役に立つ大きな二つのことを学びました。一つ目は、努力することの大切さです。福島中央テレビでアナウンサー歴34年の菅佐原さんのお話を聴きました。僕は、小学校1年生から水泳を続けて7年になります。誰よりも水に触れ、水に馴染み、水と戦ってきた7年と自負していましたが、菅佐原さんのお話を伺い、自分はまだまだ努力し改善しなければならない未熟者だと感じました。一つのニュースを決められた35秒の時間内で読み上げる。僕も水泳では体内時計を使って、0.1秒台まで考えながら泳ぎ、目標のタイムに向かって努力しますが、なかなか時間通りに泳ぎることができません。もちろん、体力的なこともあります。自分の中の体内時計を磨き、鍛えることが必要であると感じました。このスキルを身につけるのに、どれほど努力したのだろうかと感じました。しかし、今の僕は、まだ時間をかけ成長できる段階であると思います。菅佐原さんをお手本にもっと努力していこうと思いました。二つ目に「礼儀正しく、物語はきちんと調べ、そしてどんな時も人を傷つけない。」菅佐原さんは、視聴者に「正しい情報を分かりやすく伝える」ために、このようなことに気をつけているのだそうです。自分も水泳競技を続け、上をめざしていくには、仲間やコーチを大切に、速く泳ぐための知識を身につけなくてはなりません。僕は、中学校1年生というまだまだ成長の過程の中にいます。だからこそ、今この時期を大切に、更に成長していきたいと思います。(1-5 遠藤豊歩)

3年鈴木さん、2年連続“市長賞”受賞！ 第50回郡山市小・中学校書きぞめ展

1月24日(金)から26日(日)までの3日間、けんしん郡山市民文化センター(1F展示室)において、「第50回郡山市小・中学校書きぞめ展」が開催されています。本校からは、学年最高賞の「郡山市長賞」に鈴木ひかりさん、学年2位相当の「教育長賞」に加藤葵偉君、そして、それらに準ずる「中学校長会長賞」に菅野明里さんが輝きました。特選、入選の生徒も含め、力作揃いです。富中生の“書の力”、本当に素晴らしいものがあります。

特別賞受賞作品です！

【特別賞】

郡山市長賞(3年) 鈴木ひかり
 教育長賞(1年) 加藤葵偉
 中学校長会長賞(2年) 菅野明里

【特選】

1年: 山口夢奈、志田柚季、鈴木琉彩
 2年: 白鳥瑞季、吉田歩花、佐久間理央
 3年: 大越奏太、舟見咲樹、藤田奈々花

【入選】

1年: 阿部寧々、大河内心響、南梨夢乃
 井村奏穂、佐々木萌里、手塚陽
 日下未悠、國分史穂、田村遥斗
 前林沙里奈、佐竹奏吾
 2年: 二瓶柚乃、鳴原陸、相良屋さくら
 竹荒陽菜梨、本田環、水野稀子
 緑川真結花、影山暖、飯塚美妃
 大和田晃心、橋本彩音
 3年: 岡田彩音、大内怜奈、影山唯衣
 相良優結、山口亜由夢、角田凜
 佐藤結彩、尾辻晴、飯村琴海
 栗城叶望、星野未那美

